

教員推薦図書 2026年2月

推薦教員	国際学科 李正勲 先生	【推薦コメント】 本書はしばしば人生訓として読まれてきたが、著者自身の置かれていた歴史的背景に鑑みると、単なる倫理的教訓の集成ではなく、過酷な状況下で統治者が自己を律し続けるための思考の記録であったと言える。実際、「五賢帝」の一人としての治世は、戦争や疫病に絶えず晒され、決して平穏なものではなかった。第六巻に「ものの内部を見よ。いかなるものの固有な性質も価値も君の眼を逃れることのないように」とあるように、現実からの逃避ではなく、そうした状況に耐えつつ政治的責務を果たすための内面的実践を示した点にこそ、その思想史的意義があると言えよう。
書名	自省録 (岩波文庫)	
著者名	マルクス・アウレリウス 著	
出版社	岩波書店	
請求記号	131.5 / Mar	
資料ID	901131165	